

2022年度 ひだまり



2023年 3月10日 | 235号



幼稚園 048(794)3104

HP URL  
http://wakuwaku-dokidoki.com



2023.03.10

# うまれてよかった

— 赤ちゃんの話 —

ケキョケキョとまだ上手く歌えないウグイスの初鳴きを耳にし、その愛らしさに心が躍りました。今週は気温がぐんと上がり、一気に春がやってきました。子どもたちも上着を脱ぎ捨て、半袖姿でかけまわっています。まさに生きた温度計ですね。

さて、年長組の卒園を間近に控えた水曜日、助産師さん(卒園生のお母さん)による「赤ちゃんの話」が年長児対象に行われました。

妊婦さんに扮した助産師さんのお腹には羊水に包まれた赤ちゃんの姿が。手をあてた子どもたちから「あたがーい」の声があがります。何でお湯なの?という質問には、赤ちゃんのおしこのなよ、という答えにみんな驚いた顔。みんなが今しているおしこは違うと聞き、ちょっと安心です。

今回、新しいモデルが登場しました。それは布でできた子宮です。赤ちゃんが子宮の収縮により産道を通って子宮口から出てくる様子がよくわかる仕組みになっています。どのくらいで産まれてくると思う?の問いに1時間という声があがりましたが、ボクは6時間、24時間かかったという子も。こんな狭い産道を時間をかけて、赤ちゃんも大変な思いをして産まれてくること、お母さんも赤ちゃんも周りの大人もみんなが頑張る力を合わせて産まれてきた日が誕生日なのだを教えてもらいました。子どもたちの中から「生まれてきて良かった」という声。なんて素敵な言葉でしょう。その後、廊下で会った時にぎゅっと抱きしめたら、「夜、お母さん泣いていた」と。感動再びでした。

今回のお話のもうひとつのポイントは、自分の身をどう守るかでした。これから小学校に通学するためにこんな場面ぞういけらよいか、ぬいぐるみのジョージとアナゴくんを使っての寸劇です。知らない人に声をかけられたり、触られたりしたら、大声で「助けて」と言うこと。嫌なことは「イヤ!」と言おう。嫌と思うことはとても大事。嫌な事をされたら信頼できる大人に知らせよう。みんなを助けてくれる大人は必ずいるからねと教えてもらった子どもたち。「ワー」と大声を出す練習もしました。(園長)



2023.03.04



2023.03



子宮口から赤ちゃんが...

2023.03.08



2023